

中学校日記

学校生活の1コマを学生の手作り(写真・文)でお届けします。



- # 指揮に思いを乗せて
- # 円陣 深まる絆
- # 響け 私たちのハーモニー

kiyama_chuugakkou

重なる思い 響くハーモニー ～校内合唱コンクール～



きやまくん

10月4日、校内合唱コンクールが行われました。今年のテーマは「奏～輝く歌声 想いを重ねて～」。クラス全員の歌声でハーモニーを奏でながら、私たちらしい合唱を作り上げようという思いを込めました。このテーマの基、クラスで意見を出し合い、互いに教え合いながら、より良い合唱になるよう練習に励みました。団結して練習に取り組んだことで、絆がより深まったと感じます。

本番では、各クラスの歌声が体育館中に響き渡り、学校全体が一つになったような雰囲気になりました。このコンクールの経験と努力を、これからの生活にも生かしていきたいです。



私がお伝えします

木山中 文化委員長
たのうえ まき
田上真希さん(3年生)

にじいろ通信

地域おこし協力隊がピックアップした、復興やまちづくり、記憶の継承などさまざまなトピックをご紹介します。



報告：中村 康佑

■「記憶の継承 WALKING」の裏側

健康フェスタのコンテンツのひとつ、「MASHIKI 記憶の継承 WALKING」の企画・運営を担当しました。

ウォーキングで震災遺構や各地の文化財を巡るというシンプルな内容ですが、メインテーマはイベントタイトルの通り「記憶の継承」。益城町とは切っても切り離せない断層によってできた地形、火山、湧き水などについて、新たな視点で知ってもらうことがイベントの狙いです。ウォーキングという体を使った健康づくりに、「記憶の継承」という知的活動を組み合わせている点も、この企画のこだわりの一つです。

運営には町職員をはじめ、地域の皆さんから多くの賛同と協力をいただきました。各見学ポイントでの熱のこもった説明や、休憩所での柿や新米おにぎりの振る舞いなど、参加者たちに「自分たちの地域を知って

楽しんでほしい」という思いが伝わってきました。今回、たくさんの方々の協力を得てこの企画を実施できたことにより、「協力隊として活動できてよかった」と心からうれしく思いました。

参加者の皆さんからも、またこういった企画を行ってほしいという感想をいただきました。今後も益城の魅力や面白さを味わい、ワクワクを体験できるようなコトをみんなで作り上げていきたいと思えます。



素晴らしい景色や地域の産物、町の魅力あふれる歴史に加え、企画に携わった全ての人々も、イベントに欠かせない重要な要素でした！

その他、いろんな活動を協力隊 Instagram で公開中！
(@MASHIKI_KYORYOKUTAI)
チェックしてみてください！

